



～子どもの学びと育ちを支え、質の高い幼児教育・保育を目指して～



つむぐ

No. 8

令和3年 3月 9日発行 袋井市幼児教育センター

何度も試して遊びます

袋井の幼児教育で
育成する力

| | | |
|---------|--------------|-------------------------|
| 生活習慣 | 自分のことは自分でできる | (1)自立心 |
| | | (2)道徳性 規範意識の芽生え |
| | | (3)健康な心と体 |
| | | (4)社会生活との関わり |
| 学びに向かう力 | みんなと頑張れる | (5)自然との関わり・生命尊重 |
| | | (6)言葉による伝え合い |
| | | (7)協同性 |
| 基礎となる力 | 考える・やってみる | (8)思考力の芽生え |
| | | (9)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 |
| | | (10)豊かな感性と表現 |
| | | |



何度やっても水が丸くなる



倒れないテントにしたい！

「やってみる」の思いを大切に

3歳を過ぎると大人を頼りにしていた子どもは、大人の手を借りずに目的をもって行動するようになります。その中で、やってみただけ思うようにいかないことを経験します。この時、大人は子どもに失敗させないように先回りをして口を出し、子どもの学びの機会を奪いがちです。子どもは失敗から多くのことを学びます。子どものやろうとしていることを理解し、安心して遊べるように支えましょう。

振り返りから学ぶ

「できないからもうやめる」と思っても、子どもは保育者や友達に励まされることで、諦めずに再び挑戦できるようになります。「何をどうすればいいと思う？」「次はそこに気をつけながらやってみよう」など、プロセスを振り返ることで、子ども自身がつまずいた箇所に気が付きます。そして、満足がいくまで考えて成功体験を得ることができるようになります。

こうした経験の積み重ねにより、失敗しても次にどうしようか考えられる思考力が培われていきます。